

第1回 地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会

参考資料1

【社会総がかりで行う「技芸を磨く実学」の奨励

(子供たちが農林水産業、工業、商業等に触れる機会の創出)】

1	教育活動の状況	
	(1) 小中学校の授業の実施状況等.....	1
	(2) 教育活動支援のための外部人材の導入状況等.....	2
2	県の取組事例.....	7
3	小・中学校におけるキャリア教育の取組.....	13
4	高等学校におけるキャリア教育の取組.....	15
5	全国で輝いた技芸の星 ～本県高校生の活躍～.....	19

1 教育活動の状況

(1) 小中学校の授業の実施状況等

1 法定の標準授業時数（小学校）

（出典：学校教育法施行規則別表第一）

区 分		第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	第 4 学 年	第 5 学 年	第 6 学 年
各教科の 授業時数	国 語	306	315	245	245	175	175
	社 会			70	90	100	105
	算 数	136	175	175	175	175	175
	理 科			90	105	105	105
	生 活	102	105				
	音 楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家 庭 体 育	102	105	105	105	90	90
道 徳 の 授 業 時 数		34	35	35	35	35	35
外国語活動の授業時数						35	35
総合的な学習の時間の授業時数				70	70	70	70
特別活動の授業時数		34	35	35	35	35	35
総 授 業 時 数		850	910	945	980	980	980

※授業時数の一単位時間は45分

2 法定の標準授業時数（中学校）

（出典：学校教育法施行規則別表第二）

区 分		第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
各 教 科 の 授 業 時 数	国 語	140	140	105
	社 会	105	105	140
	数 学	140	105	140
	理 科	105	140	140
	音 楽	45	35	35
	美 術	45	35	35
	保 健 体 育	105	105	105
	技 術 ・ 家 庭	70	70	35
外 国 語		140	140	140
道 徳 の 授 業 時 数		35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		50	70	70
特別活動の授業時数		35	35	35
総 授 業 時 数		1015	1015	1015

※授業時数の一単位時間は50分

3 勉強が好きな児童生徒の割合

（出典：平成27年度全国学力・学習状況調査）

	小 学 校			中 学 校		
	国 語	算 数	理 科	国 語	数 学	理 科
静 岡 県	53.6%	69.5%	80.3%	60.7%	58.2%	63.8%
全 国	61.1%	66.6%	83.5%	60.5%	56.0%	61.9%

4 PISA調査における日本の順位の経年変化

（出典：OECD生徒の学習到達度調査）

	2006年	2009年	2012年	2015年
科学的リテラシー	6位	5位	4位	2位
読 解 力	15位	8位	4位	8位
数学的リテラシー	10位	9位	7位	5位

1 教育活動の状況

(2) 教育活動支援のための外部人材の導入状況等

1 教育活動支援のための外部人材（保護者、地域住民、NPO、企業など）の導入等

出典：県教育委員会教育政策課「H28 末学校対象調査」

(1) ①教育活動（部活動を含む）における外部人材の活用

項目	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
活用した	100.0%	100.0%	99.1%	100.0%
活用しなかった	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%

▶② ①で「活用した」と答えた場合、外部人材との連携・協働による授業の実施

項目	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
実施した	99.7%	91.3%	90.8%	100.0%
実施しなかった	0.3%	8.7%	9.2%	0.0%

▶③ ②で「実施した」と答えた場合、どのような外部人材を活用したか

項目	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
保護者	66.8%	33.8%	18.2%	27.0%
保護者以外の地域住民	94.0%	81.5%	62.6%	83.8%
NPO・企業等	66.8%	62.4%	81.8%	83.8%
その他	16.0%	24.8%	33.3%	35.1%

▶④ ②で「実施した」と答えた場合、その効果について該当するもの（複数回答）

項目	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
子供の学習の充実につながる	97.5%	88.5%	87.9%	100.0%
子供の社会性の涵養につながる	63.6%	73.2%	80.8%	78.4%
子供の自己肯定感の高まり	33.9%	36.3%	31.3%	56.8%
生徒指導、いじめ、不登校等の減少	7.5%	14.0%	9.1%	8.1%
教員の資質向上に資する	42.3%	39.5%	47.5%	86.5%
保護者や地域の協力の高まり	76.8%	55.4%	39.4%	48.6%
学校と地域の相互理解の深まり	79.9%	66.2%	58.6%	70.3%
その他	0.3%	1.9%	4.0%	2.7%

- ⑤ ①で「活用しなかった」、②で「実施しなかった」と答えた場合、活用又は実施しなかった理由について該当するもの（複数回答）

項目	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
制度や体制づくりがなされていない	0.0%	53.3%	27.3%	—
予算的な支援が十分でない	0.0%	40.0%	27.3%	—
学校や地域の担当者（コーディネーター）が明確になっていない	0.0%	33.3%	9.1%	—
学校と地域の情報共有ができていない	0.0%	6.7%	0.0%	—
目的や意義の共有ができていない	0.0%	13.3%	18.2%	—
地域の人材を探すことが難しい	0.0%	20.0%	18.2%	—
授業の調整や打合せに時間がかかる	100.0%	46.7%	27.3%	—
守秘義務に関する懸念がある	0.0%	6.7%	0.0%	—
その他	0.0%	6.7%	18.2%	—

- (2) 地域の人々の協力を得ながら学校の課題を解決したり、地域のニーズに応えたりするため、地域の人々が参画して協議する場があるか

項目	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
学校運営協議会を設置している	14.1%	13.4%	0.9%	0.0%
学校評議員に意見を聞いたり、学校関係者評価委員会を実施したりしている	82.5%	82.0%	95.5%	100.0%
上記2つと似た仕組みや場（会議体を含む）を設けている	3.1%	4.7%	0.9%	0.0%
ない	0.3%	0.0%	2.7%	0.0%

2 働くことへの意欲や関心を高めたり、勤労の尊さを学んだりするなど、子供に望ましい勤労観や職業観を育む教育 出典：県教育委員会教育政策課「H28 末学校対象調査」

(1) 勤労観や職業観を育む教育を実施した学校

項目	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
学校全体で計画的に実施	17.8%	74.4%	67.3%	64.9%
特定の学年で計画的に実施	71.9%	24.4%	25.5%	35.1%
担任・教科担任等により一部の学級等で実施	10.0%	1.2%	7.3%	0.0%
実施しなかった	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%

(2) ①職場体験を実施した学校（職場見学を実施した学校を含まない）

項目	小学校	中学校
実施した	17.2%	98.3%
実施しなかった	82.8%	1.7%

▶ ② ①で「実施した」と答えた場合、何年生で実施したか（複数回答）

項目	小学校	中学校
1年生	0.0%	5.9%
2年生	10.9%	96.4%
3年生	16.4%	10.7%
4年生	10.9%	—
5年生	14.5%	—
6年生	72.7%	—

▶ ③ ①で「実施した」と答えた場合、何日間実施したか
（複数学年が実施した場合には、最も多くの日数を実施した学年について回答）

項目	小学校	中学校
1日	76.4%	10.1%
2日	20.0%	47.9%
3日	0.0%	39.6%
4日	0.0%	1.8%
5日	0.0%	0.0%
6日以上	3.6%	0.6%
連続5日以上	0.0%	0.0%

(3) ①職場見学を実施した学校（職場体験を実施した学校を含まない）

項目	小学校	中学校
実施した	69.4%	50.6%
実施しなかった	30.6%	49.4%

▶ ② ①で「実施した」と答えた場合、何年生で実施したか（複数回答）

項目	小学校	中学校
1年生	6.8%	49.4%
2年生	44.1%	66.7%
3年生	74.8%	14.9%
4年生	52.3%	—
5年生	61.7%	—
6年生	45.9%	—

(4) ①職業講話を実施した学校

項目	小学校	中学校
実施した	60.9%	84.9%
実施しなかった	39.1%	15.1%

▶ ② ①で「実施した」と答えた場合、何年生で実施したか（複数回答）

項目	小学校	中学校
1年生	5.6%	71.2%
2年生	10.3%	63.0%
3年生	22.6%	42.5%
4年生	25.1%	—
5年生	30.3%	—
6年生	83.6%	—

③ ①で「実施した」と答えた場合、どのような方に講師を依頼したか（複数回答）

項目	小学校	中学校
ハローワーク職員	1.0%	6.2%
地域の職業人（保護者を含む）	75.4%	80.8%
高校や大学の教職員	1.5%	12.3%
卒業生	15.4%	19.9%
教育行政職員	4.6%	8.2%
著名人	11.3%	11.6%
NPOや企業	23.6%	37.0%
その他	14.9%	3.4%

(5) インターンシップなどの就業体験活動を実施した学校

項目	高等学校	特別支援学校
学校全体で計画的に実施	15.5%	35.1%
特定の学年で計画的に実施	38.2%	62.2%
担任・教科担任等により一部の学級等で実施	9.1%	0.0%
実施しなかった	37.3%	2.7%

○学校対象調査の概要

1 調査項目

「『有徳の人』づくりアクションプラン」第2期計画及び「平成28年度教育行政の基本方針と教育予算」に関わる事業等の活用状況に関して、平成29年3月時点での取組状況を調査

2 調査実施概要

- (1) 調査対象 県内全ての県立学校及び市町立学校・市町立幼稚園（政令市を除く）計812校
- (2) 調査方法 県立学校については、教育総合ネットワークシステムを活用して直接調査
市町立学校については、各市町教育委員会に調査票の配付、回収を依頼して調査
- (3) 調査期間 平成29年2月1日～平成29年3月8日
- (4) 回収率 100%

2 県の取組事例

○教育委員会

	項目	内容
1	キャリア教育の推進 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の産業や特色に関する関心を高めるとともに、地域社会に貢献する意欲、態度等を育むため、総合的な学習の時間を中心に、地域のひと・もの・ことを効果的に活用 ・小・中学校では、教職員を対象としたキャリア教育研修会を開催 <p>→参考資料 1 P13～14</p>
2	キャリア教育の推進 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・海外インターンシップ等を支援することにより、グローバル教育の充実を図り、将来国内外で活躍できる人材を育成 ・産業教育の充実を図るとともに、高等学校と産業界との相互理解や地域に根差した教育を推進するため、企業や研究機関等から講師を招へいし、将来、県内で活躍する人材を育成 <p>→参考資料 1 P15～18</p>
3	しずおか型コミュニティ・スクール推進事業 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携、協働による持続可能な「地域とともにある学校づくり」の推進 ・学校経営構想（グランドデザイン）において地域との連携、協働を明記 ・地域固有の資源の活用 ・保護者、地域住民による学校経営への参画 など
4	実学推進フロンティア事業 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・産業界で必要となる高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成を図る <p>エネルギー関連教育の充実 高校教育民間活力導入推進（企業からの講師の招へい）</p>
5	高校生アカデミックチャレンジ（高大連携推進） 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の大学での講座受講及び研究活動の実施 <p>イノベーションチャレンジ（産業） チャレンジラボ（実学分野） ※県内大学との連携</p>
6	次代を担う人材育成研修事業 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・「静岡県キャリア教育推進協議会」を設置し、県内のキャリア教育のネットワークの構築を図る <p>職場見学、職場体験及び就業体験の実施など</p>
7	地域産業を支える実学奨励事業 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・専門高校等の特色ある取組を広く県民に周知するとともに最新設備を整備し、産業界で必要となる高度な知識・技能を身に付けた専門的職業人を育成 <p>ふじのくに実学チャレンジフェスタの開催など</p>

	項目	内容
8	学校支援地域本部等 推進事業 【社会教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の参画による学校支援地域本部及び放課後子ども教室等の設置を促進し、地域ぐるみで子どもを育む 地域と連携した職業講話、体験学習の推進など
9	職業教育に関する知事褒賞の授与 【高校教育課】 【私学振興課】 【職業能力開発課】	<ul style="list-style-type: none"> ・次代の本県産業を担う学生・生徒をはじめとする若者の励みとするとともに、職業教育等への理解の促進を図るため、県内の職業教育を主とする高等学校、技術専門校、農林大学校等の生徒・学生等のうち、特に学業・技能・態度・行動が優秀で、他の模範となる業績を残した者に対して知事褒賞を授与

○知事部局

	項目	内容
1	県立大学観光人材育成講座開催事業 【大学課】	<ul style="list-style-type: none"> ・観光を支える人材を育成するため、静岡県立大学及び静岡文化芸術大学において観光人材育成講座を開催
2	おもてなし推進事業 (ふじのくに子ども観光大使の育成) 【観光政策課】	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の歴史・文化等を学び、体験し、発信できる子どもを増やすため、「ふじのくに子ども観光大使」認定講座を通じ、子どもたちが静岡の魅力を学び、体験する機会を提供
3	福祉人材確保対策事業 【地域福祉課】	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉職場への人材供給を促進するため、福祉・介護事業所との個別相談や学校情報の提供を行う福祉の就職・進学フェアを開催 ・福祉分野への就職、進学を促進するため、雇用前及び進学前のマッチングを促進する職場体験を実施 ・児童、生徒の福祉の仕事に対する理解を促進するため、小、中、高校への訪問による福祉職セミナーを実施
4	介護人材就業・定着促進事業 【介護保険課】	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就業を目的に、介護の仕事のやりがい等を県民に伝えるため、若手介護職員“介護の未来ナビゲーター”を大学や就職ガイダンス、商業施設等に派遣 ・小学生やその保護者等に介護の仕事に対する適切な理解を促進するため、夏休み期間中に介護の仕事親子見学のバスツアー等を実施 ・介護分野への就業、職場定着の促進と介護の仕事への理解を深めてもらうため、「ふじのくにケアフェスタ」、「介護技術コンテスト」、「ケアごはんアイデアコンクール」を開催

	項目	内容
5	「食の都」づくり推進事業 【マーケティング課】	<ul style="list-style-type: none"> ・多彩で魅力ある県産食材を積極的に活用する「ふじのくに食の都づくり仕事人」等を通じた意識啓発、情報発信等 ・仕事人による小学校での出前授業等を実施
6	地域企業人材確保事業 【雇用推進課】	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の人材確保と大学生等のU I J ターン就職を促進するため、就職面接会や就活セミナーの開催、静岡U・I ターン就職サポートセンターの運営等を実施
7	地方創生インターンシップ等推進事業 【雇用推進課】	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生等の県内企業への理解を促進し、県内就職への意識を醸成するため、インターンシップ等を促進
8	県立技術専門校と工業高等学校(定時制)との技能教育連携 【職業能力開発課】	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに携わる人材の育成のため、県立技術専門校と工業高等学校(定時制)が連携して技能教育を実施
9	高校生のものづくりキャリア教育型体験入校 【職業能力開発課】	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生が県立技術専門校の実習を体験し、企業の現場を見学することで、高校卒業後の進路の一つとしてもものづくりが選択肢となるように、ものづくりキャリアのロードマップを提示
10	技能の場力強化事業 【職業能力開発課】	<ul style="list-style-type: none"> ・技能マイスターを学校へ派遣し、講話・実演等を行う出前講座の実施 ・若年者ものづくり競技大会出場選手等の育成強化 ・ものづくり体験教室「WAZA チャレンジ教室」の実施 ・アビリンピック県大会の実施と全国大会出場の支援 ・工業高校へのものづくりマイスターの派遣
11	森林教室 【農林技術研究所】	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が、県内の小中学校等で、森林についての授業を実施
12	小学校の課外授業 【農林技術研究所】	<ul style="list-style-type: none"> ・茶業研究センターにおいて、小学生に対して、お茶の品種や、加工の仕方、機械について講義
13	農業高校への講師派遣 【農林技術研究所】	<ul style="list-style-type: none"> ・農業高校の教員の専門知識及び指導力向上のために、磐田農業高校、田方農業高校に講師として職員を派遣
14	普通高校への講師派遣 【農林技術研究所】	<ul style="list-style-type: none"> ・稲取高校、下田高校に職員を派遣して野菜栽培技術、マーガレット等花きの育種技術を講義

	項目	内容
15	農業高校の生徒の研修 【農林技術研究所】	・農林技術研究所において、農業高校の生徒に対して、花から採集した酵母の培養・分離方法について、研修を実施
16	大学への講師派遣 【農林技術研究所】	・静岡大学に職員を派遣して茶の栽培育種技術を講義
17	大学生への研修 【農林技術研究所】	・茶業研究センターにおいて、県立大学の学生に対して、茶摘や手もみ加工の実習を実施
18	静岡県先進的農業推進協議会 【農林技術研究所】 【畜産技術研究所】	・静岡大学農学部と県経済産業部が連携し、ビジネス経営体等の農業人材の育成を進めるため、大学院生を対象とした講義等を実施し、県職員を講師として派遣 ・平成21年度から平成28年度までの間に、80名の大学院生が受講
19	中学生への研修 【畜産技術研究所】	・静岡聖光学院中学校の生徒に対して、「命」をテーマにした社会学習についての研修を実施
20	児童福祉施設の生徒への研修 【畜産技術研究所】	・静岡県立吉原林間学園の生徒に対して、乳製品作りの科学についての研修を実施
21	高校生への研修 【畜産技術研究所】	・静岡県立富岳館高等学校の生徒に対して、産業動物と家畜改良についての研修を実施
22	大学生への研修 【畜産技術研究所】	・東京農業大学動物資源専攻の学生に対して、大家畜経営と資源循環についての研修を実施 ・東京都市大学ランドデザイン専攻の学生に対して、卒業研究のための調査視点発法についての研修を実施 ・北里大学獣医学科の学生に対して、静岡県職員(獣医職)の業務内容についての研修を実施 ・日本獣生命大学の学生に対して、家畜人工授精要請講習会についての研修を実施
23	にじます教室 【水産技術研究所】	・富士宮市内の小中学校に職員を派遣して、ニジマスの生態や養殖方法などについての授業を実施

	項目	内容
24	水産高校への 講師派遣 【水産技術研究所】	・焼津水産高校（スーパープロフェッショナル指定校）に職員を派遣して藻場の調査方法を指導
25	普通高校への 講師派遣 【水産技術研究所】	・稲取高校（スーパー食育指定校）に職員を派遣して海藻栄養学及びキンメダイの漁業と栄養について講義
26	大学への講師派遣 【水産技術研究所】	・東海大学に職員を派遣して沿岸植物学、水産食材論を講義
27	工業高校への 講師派遣 【工業技術研究所】	・スーパーサイエンスハイスクール事業に関連して、生徒の研究活動やプレゼンテーション能力向上のために、浜松工業高校に講師として職員を派遣
28	大学への講師派遣 【工業技術研究所】	・静岡県立大学、静岡理工科大学に職員を派遣して、環境健康科学、機器分析学を講義 ・静岡大学「地域づくりの課題」、静岡県立大学「静岡地域食材学」、大手前大学（兵庫県）「光・色・音の環境」の講義を開講 ・静岡大学に職員を派遣して品質工学について講義
29	環境学習講座 【環境衛生科学研究所】	・学校、市町、児童クラブ、企業等が主催して行う環境学習会に環境衛生科学研究所の職員を講師として派遣
30	商品テスト実習講座 【環境衛生科学研究所】	・小中学生や一般消費者を対象に商品テスト実習講座を開催
31	大気汚染に関する説明会 【環境衛生科学研究所】	・移動用大気測定車を設置した小学校において、大気汚染に関する説明会を実施
32	大学への講師派遣 【環境衛生科学研究所】	・静岡県立大学に職員を派遣して食中毒原因細菌やウイルスの検出法を講義
33	連携大学院制度 【農林技術研究所】 【畜産技術研究所】 【水産技術研究所】 【工業技術研究所】 【環境衛生科学研究所】	・県の研究機関が大学院生を受け入れ、大学から「客員教授」等の発令を受けた研究員が学生を指導 ・平成15年度から平成28年度までの間に、74名の大学院生を受け入れ

	項目	内容
34	建設産業担い手 確保・育成対策支援 事業 【建設業課】	・建設産業への理解促進の取組（建設現場体感見学会、親子 インフラツーリズム 等）
35	静岡大学地域創造学 環との連携 【技術管理課 （建設技術監理センター）】	・将来の建設産業の担い手への期待から、静岡大学の地域創 造学環と連携し、2科目の講義を担当するとともに、フィ ールドワークの場を提供
36	出前講座の実施 【交通基盤部全所属】	・交通基盤部の実施する各種社会資本整備や防災のソフト施 策に関して、地域住民や学校など様々な団体に 出前講座を実施 ・河川等のフィールドを活用した生物観察などの環境学習も 実施
37	職業教育に関する 知事褒賞の授与 （再掲） 【高校教育課】 【私学振興課】 【職業能力開発課】	・次代の本県産業を担う学生・生徒をはじめとする若者の励 みとするとともに、職業教育等への理解の促進を図るため、 県内の職業教育を主とする高等学校、技術専門校、農林大 学校等の生徒・学生等のうち、特に学業・技能・態度・行 動が優秀で、他の模範となる業績を残した者に対して知事 褒賞を授与

3 小・中学校におけるキャリア教育の取組

1 キャリア教育の実施状況

- ・小中学校ともに、総合的な学習の時間等、何らかの形で地域と関わりを持ったキャリア教育を行っている。小中学校におけるキャリア教育に関連する体験学習は地域の人的・物的資源の活用によって成り立っている。
- ・例えば、小学校3年生の社会科は「地域」がテーマになっているので、地元の商店街等について学習する。小学校5年生の社会科では、地域にある工場見学等を行う。また、お米やお茶を題材にした小学校における総合的な学習の時間は地元の農家の協力は実施できない。このように実学の基盤となるような小中学校におけるキャリア教育は地域に根差した実践として定着している。

【参考資料】

- ・小学校 総合的な学習の時間 小学校3～6年 各70時間（週2時間）
- ・中学校 総合的な学習の時間 中学校1年 50時間（週1.4時間）
中学校2・3年 各70時間（週2時間）

2 具体的な実践事例

	項目	内容
1	総合的な学習の時間におけるキャリア教育 (掛川市)	地元を学び、地元で働き、地元の将来について提案していくといった中学3年間を系統的に捉えた総合的な学習の時間「掛川学」に取り組んでいる。
2	コミュニティ・スクールにおけるキャリア教育 (磐田市)	地域とともにある学校づくりへの取組として、地域人材の発掘・活用を図っている。(小学校・中学校) ・「ようこそ先輩」、「未来授業」と称して、職業講話や体験活動（金属加工体験など）を実施
3	学校支援地域本部（地域学校協働本部）におけるキャリア教育 (三島市)	学校支援地域本部（地域学校協働本部）と連携して、地域で活躍する人材を活用し、職業講話や職場体験を実施（中学1年） ・「農業」、「信用金庫」、「CGデザイナー」などの職種において実施

	項目	内容
4	経済団体と連携したキャリア教育 (島田市・島田商工会青年部)	ジュニアエコノミーカレッジのプログラムを、島田市独自にアレンジして、平成 25 年度から島田市内の子どもたち(小学5・6年)に「起業体験学習」を実施 【文部科学大臣表彰】
5	NPO等と連携した「地域を知る学習」(伊豆市)	公募で集まった小中学生(小学5年～中学2年)が、地元のNPO等と連携して、伊豆市の見どころを紹介する観光情報誌「KURURA くるら」を発行 ・児童生徒が、伊豆市内の観光施設を取材し、地域の魅力を再確認

3 キャリア教育研修会の開催

目的	発達段階に応じたキャリア教育の在り方、校内外の連携を踏まえたキャリア教育推進のための手だて、キャリア教育の改善方策等について、講義とグループワークによる研修会を行い、学校のキャリア教育への理解を深める。
対象	教務主任、キャリア教育担当、進路指導担当、総合的な学習の時間担当のうち、いずれか1人が参加
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国や県のキャリア教育推進の方針や取組の紹介 ・各校のキャリア教育の取組についてグループ協議
開催日及び会場	<p>ア 静西教育事務所管内 開催日：平成 28 年 9 月 21 日 (水) 会 場：総合教育センター</p> <p>イ 静東教育事務所管内 開催日：平成 28 年 10 月 4 日 (火) 会 場：裾野市民文化センター</p>

4 高等学校におけるキャリア教育の取組

1 海外インターンシップ事業（28年度実績）

県内企業の海外工場での就労体験等を実施することで、県内企業の実力を肌で感じ、将来的に県内企業で活躍する意識を高める。

(1) 参加者

専門高校、総合学科の生徒 15 人、引率 3 人（高校教育課）

(2) 実施内容

区分	内 容	
国内研修	7月24日（静岡県庁）：事前研修	
	企業概要研究等 8月5日：ヤマハ発動機（株）、臼井国際産業（株） 8月8日：ヤマハ（株）	
	研修内容 ・ 県内企業の事業概要や企業理念、グローバル化の現状等を学習 ・ 会社や工場での就労体験学習	
海外研修	国名 (参加生徒数)	概要
	タイ (4人)	研修期間：8月22日（月）～25日（木） ・ USUI International Corporation(Thailand)Ltd. （研修日：8月23日・24日） 研修内容：企業概要研究、工場見学、就労体験等 参 加 校：田方農業、裾野、沼津商業、富士宮北
	中国 (6人)	研修期間：8月23日（火）～26日（金） ・ 雅馬哈電子（蘇州）有限公司（研修日：8月25日） ・ 県上海事務所（研修日：8月24日） 研修内容：企業概要研究、工場見学、就労体験、 海外事情研究等 参 加 校：静岡農業、静岡商業、小笠、浜松工業、 浜松商業、科学技術
	台湾 (5人)	研修期間：8月23日（火）～26日（金） ・ 台湾山葉機車工業有限公司新竹工場(研修日：8月24日) ・ 県台湾事務所（研修日：8月25日） 研修内容：企業概要研究、工場見学、販売店舗視察、 海外事情研究等 参 加 校：藤枝北、島田商業、掛川工業、磐田西、 浜松城北工業



2 インターンシップの実施状況概要（27年度実績）

課 程	県内公立高等学校数	実施学校数	実施率（％）
全日制	90 校	78 校	86.7
定時制	20 校	6 校	30.0
合 計	110 校	84 校	76.4

※政令指定都市3校は含まない

※参加実人数 7,823人（全日制7,811人・定時制12人）

3 大学からの講師招請事業（27年度実績）

大学教員が高等学校との連携を図りながら、高校生を対象に大学における授業その他を行うことにより、大学教育の内容に対する理解と大学への興味・関心を喚起するとともに、高校生自らの進路決定への意識的な取扱を促進する。

静岡大学との連携による出張事業等

・実施校数37校（学部説明23回・出張授業77回）

4 ふるさと人材育成事業（経営者等の講師派遣事業）27年度実績

学校が実施する職業講話等に県職員、県警察本部職員（警察官・警察行政職員）及び地域のトップリーダーを講師として派遣し、県内で活躍する公務員、企業経営者等が求める人物像や心構え、地域社会や企業を取り巻く情勢等に関する講話を行うことにより、将来郷土で活躍する人材を育成する。

実施校	講師名等	実施日
県立浜松湖北高等学校	遠鉄タクシー株式会社 代表取締役社長	10月2日（金）
	株式会社平出章商店 代表取締役社長	
県立沼津工業高等学校	東芝機械株式会社 管理本部人事部部长	10月28日（水）
学校法人松薫学園 焼津高等学校	株式会社丸一家具センター 取締役会長	11月4日（水）
県立沼津西高等学校	有限会社エス. 代表取締役	11月19日（木）
	県人事委員会	
県立清水東高等学校 定時制	スター精密株式会社 管理本部副本部長	12月17日（木）
県立浜松工業高等学校 定時制	株式会社榛葉鉄工所 代表取締役会長	12月18日（金）
県立三島長陵高等学校	県人事委員会	2月4日（木）

5 静岡県キャリア教育推進企業等顕彰事業（28年度実績）

インターンシップ等の受入れや、学校に職員を講師として派遣するなど、高等学校におけるキャリア教育の推進に寄与した企業等に対し、その功績をたたえ、県教育委員会教育長及び静岡県産業教育振興会会長から感謝状を授与した。

主に普通科の生徒のキャリア教育を支援した企業等	主に専門学科の生徒のキャリア教育を支援した企業等
スズキ株式会社	一般社団法人袋井建設業協会（農業）
株式会社メイセイ	株式会社ノダ富士川事業所（工業）
マックスバリュ東海株式会社	富士宮商工会議所（工業）
御前崎プラスチック株式会社	株式会社天野回漕店（商業）
医療法人社団明徳会十全記念病院	

6 生徒のアイデア募集・コンビニとの連携による商品開発

高校生の地域に対する理解を深めるとともに、社会への参画意識の高揚を図る。

(1) 高校生ひらめき・つなげる提案コンテスト

地域の活性化等に資するアイデアとアイデアを生かした実践事例を広く県民に紹介するとともに、優れたアイデアを提案、実践した生徒を表彰することにより、生徒の社会への参画意識の高揚を図る。

(2) コンビニエンスストアと連携した新商品開発

27年度は、県立高等学校12校から67点の応募があった。

学校から提出された企画書（提案）の内容を踏まえ、コンビニエンスストアが実施の可否を決定し、高校生が企画から販売までを実際に体験する。以下は28年5月までの状況である。

学校名	種別	商品名	発売日	連携先
県立静岡商業高等学校	菓子パン	くるベリーチーズ	2月	サークルKサンクス
県立浜松商業高等学校	菓子パン	もちもちとしたいちごホイップあんぱん	3月	サークルKサンクス
県立御殿場高等学校	菓子パン	ピッチ茶ポテト いちっパン	5月	ローソン



7 高校生の社会貢献活動の推進（27年度実績）

学校が実施・計画する社会貢献活動と学校が地域の求めに応じて実施可能な社会貢献活動の概要を取りまとめ、県教育委員会のホームページに掲載し、各学校と地域とのつながりを強めるとともに、部活動を単位として取り組む1部活動1ボランティアを合言葉とするなど、高校生の社会貢献活動を推進した。

実施・計画した学校は全日制82校、定時制4校、参加生徒数は合計34,243人
具体的な内容（複数回答あり）

実施	文化的・体育的活動	社会奉仕活動	経済社会活動	社会づくり活動
全日制	69	86	25	56
定時制	2	2	1	1

※受入れ可能な社会貢献活動を行う学校は全日制23校、定時制2校

8 静岡新聞「Futureしずおか」との連携

静岡新聞社が実施する「Futureしずおか」と連携し、「高校生課外授業」の広報や、地域企業紹介冊子の配布の協力を行っている。

5 全国で輝いた技芸の星 ～本県高校生の活躍～

平成28年度の1年間における、スポーツを除いた、実学及び文化芸術の分野での本県高校生の活躍（全国トップの受賞の数々）を報告いたします。

1 農業分野

- | | | | |
|-----------------|---------|---------|--------|
| ・全国高校生フラワーデザイン | 農林水産大臣賞 | 田方農業高校 | (川村健太) |
| ・全国高校生押し花コンテスト | 文部科学大臣賞 | 田方農業高校 | |
| ・日本学校農業クラブ全国大会 | 文部科学大臣賞 | 静岡農業高校 | |
| | 文部科学大臣賞 | 下田南伊豆分校 | (高羽美里) |
| ・高校環境化学賞 | 最優秀賞 | 富岳館高校 | |
| ・全日本学校関係緑化コンクール | 農林水産大臣賞 | 磐田農業高校 | |

2 商業分野 ※すべて浜松商業高校

- | | | |
|----------------|------------|--------|
| ・全国高校珠算・電卓競技大会 | 団体優勝、個人優勝 | (大橋明紘) |
| ・全国高校速記競技大会 | 団体優勝、個人準優勝 | (嶋口実来) |
| ・全国高校簿記コンクール | 団体準優勝、個人優勝 | (山本亜紀) |

3 工業分野

- | | | | |
|----------------|------|----------|--------|
| ・高校生ものづくりコンテスト | 準優勝 | 科学技術高校 | (山本雄理) |
| ・情報技術検定特別表彰 | | 浜松城北工業高校 | (飯尾淳矢) |
| ・若年者ものづくり競技大会 | 銅メダル | 浜松城北工業高校 | (金田和也) |

4 文芸分野

- | | | | |
|-----------------------|-----------|----------|------------|
| ・全国高校英語スピーチコンテスト | 優勝(外務大臣賞) | 静岡高校 | (一居 成) |
| ・全国高校生の手話によるスピーチコンテスト | 2位 | 静岡サレジオ高校 | |
| ・NHK杯全国高校放送コンテスト | 優勝 | 浜松市立高校 | |
| ・全国高校総合文化祭 | 新聞部門 | 最優秀賞 | 富士東高校 |
| | | 優秀賞 | 富士高校、沼津東高校 |
| | 演劇部門 | 文化庁長官賞 | 伊東高校 |

5 美術・書道分野

- | | | | |
|--------------------|---------|---------|--------|
| ・ふじのくに芸術祭2016 | 芸術祭賞 | 清水南高校 | (小川睦月) |
| ・第44回学生書道コンクール | 文部科学大臣賞 | 沼津西高校 | (井出魁風) |
| ・第45回学生書道コンクール | 文部科学大臣賞 | 沼津西高校 | (津金咲希) |
| ・国民文化祭あいち2016 | 文部科学大臣賞 | 沼津西高校 | (田原璃子) |
| ・全国高校漫画選手権(まんが甲子園) | 最優秀賞 | 伊東城ヶ崎分校 | |

6 音楽分野

- | | | | |
|-------------------------|---------|-------------------------|-----|
| ・全国高校総合文化祭 | 文化庁長官賞 | 三島北高校 | 箏曲部 |
| ・津軽三味線世界大会 | 団体優勝 | (三島南高校 渡部麻帆、沼津商業高校 藤池豊) | |
| ・チアダンス THE U. S. FINALS | 優勝 | 日大三島高校 | |
| ・世界高校チアダンス選手権大会 | 出場 | 東海大翔洋高校 | |
| ・とよさと軽音楽甲子園 | 文部科学大臣賞 | 静岡西高校 | |

7 新たな取組

- ・グローバル人材育成基金による海外渡航支援事業
 - ・ふじのくに実学チャレンジフェスタ(平成29年10月14日(土)開催)
- ～今後とも、高校教育に社会総がかりのご支援をお願いします!～